



2025年1月30日

医療機器業界向け在庫診断サービスの提供開始について

株式会社NTTロジスコ(代表取締役社長：中江康二、本社：東京都中央区、以下「NTTロジスコ」)は、医療機器業界特有のビジネス慣習に適合した在庫診断サービスの提供を開始しましたのでお知らせします。

1. サービス概要および目的

NTTロジスコでは様々な業界のお客様に在庫管理ソリューションを提供しておりますが、この度医療機器業界のお客様に特化した在庫適正化を支援する在庫診断サービスの提供を開始しました。医療機器業界のビジネス慣習に合わせ、多角的なデータ分析に基づき在庫水準を設定し、医療機器毎の在庫数を評価します。さらに評価結果をふまえて在庫過不足の根本原因を特定し、具体的な改善策を提案することにより、お客様の在庫適正化を実現します。

2. 背景

医療機器の物流は、製品サイズのバリエーションが豊富なことや、「長期貸出」や「短期貸出」※1など特有の販売方法により、過剰在庫になりやすい状況にあります。また医療機器の製品価格が高額なため、過剰在庫が経営にインパクトを与えかねず、多くの製造・販売会社は在庫の適正化に取り組んでいます。

特に「長期貸出」および「短期貸出」の在庫管理方法については、これまで製造・販売会社の物流担当者の判断や営業担当者の要望に沿って在庫を保有しているケースが多く、製造・販売会社から在庫の過不足をデータに基づき把握したいというご要望を頂いておりました。

3. サービス提供の流れ

在庫診断サービスは以下のステップで実施いたします。

- (1)在庫の現状把握
- (2)在庫の適正水準値の設定
- (3)在庫の過不足評価
- (4)在庫過不足の原因特定
- (5)改善策のご提案

4. サービスの特徴

- (1)医療機器業界に特化した専門性：医療機器特有のビジネス慣習、物流プロセス、規制要件を熟知したコンサルタントがご提案します。預託在庫管理、使用期限管理、BCP在庫といった医療機器特有の在庫管理方法にも対応可能です。
- (2)多角的なデータ分析に基づく現状評価：在庫日数、欠品率、販売方法、ABC分析など、多角的なデータ分析を実施します。また、統計的に算出した在庫の適正水準値を用いて、在庫過不足状況を定量的に評価します。現状の在庫状況を可視化し、問題点を明確にします。
- (3)現状評価結果に基づく問題発生原因の抽出：データ分析結果から在庫問題の根本原因を特定します。
- (4)具体的な改善策の提案と実行支援：問題発生原因に基づき、発注方法の見直し、販売方法の見直し、エリア拠点活用など、お客様の状況に合わせた具体的な改善策やソリューションを想定される改善効果の試算と共に提供します。

5.導入によるお客様へのメリット

- (1)在庫削減：適正在庫量を算出し、過剰在庫を削減することにより、キャッシュフローを改善します。
- (2)欠品防止：適切な在庫水準を維持することにより、欠品による販売機会損失を防止します。
- (3)物流コスト削減：在庫管理業務の効率化、販売方法の適正化により、輸送費、保管費、人件費などの物流コストを削減します。
- (4)顧客満足度向上：安定供給体制を構築することで、顧客満足度の向上を図ります。

NTTロジスコは、本サービス導入により抽出された改善策の実行支援を行うための在庫適正化に向けたコンサルティング※2その他、標準化されたルールに基づく発注・補充指示の代行サービス※3も提供しております。さらに、医療機器物流※4では、全国各地で当日納品を実現する24時間緊急配送サービス、配送品質を向上しコストを低減する共同配送便「メディカルライナー®」、東西の物流センターによる洗浄サービス(2025年4月にメディカルディストリビューションセンター大阪Ⅱ(MDC大阪Ⅱ)※5を開設予定)等、多岐にわたる医療機器業界に特化した高品質・低コストの物流サービスを提供し、お客様の事業展開を支援しております。

NTTロジスコは、3.5PL®事業者として、経営ビジョン「私たちは、お客様の物流を進化させ続け、お客様と社会に美しく透明な流れをつくる会社です」の実現に向け、お客様にご満足いただける安全かつ最先端の物流を提供し続けるとともに、お客様のサプライチェーン最適化に貢献するサービス・ソリューションを提供します。これらを活用し、客観的な視点でのご提案により、サプライチェーンにおけるプレイヤーをつなぐ「サプライチェーン・トータルコーディネーター(SCTC®)」を目指していきます。

※「メディカルライナー®」、「3.5PL®」、「SCTC®」はNTTロジスコの登録商標です。

※1：医療機関では症例数が限られ、また手術で使用されない医療機器は使用期限の関係上限られた在庫しか保管ができません。そのため、医療機関の施設内に、製造・販売会社が所有する医療機器を預け置き(預託在庫)、販売代理店・特約店が在庫管理業務を代行しています。医療機関が預託在庫を使用した時点で、医療機関と販売代理店・特約店の売買が成立します。これを「長期貸出」といいます。

一方「短期貸出」は、手術ごとにサイズや種類が異なる医療機器を販売代理店・特約店がその都度手配・納品し、使用した医療機器のみ医療機関に請求し、残りの医療機器を引き上げ、回収を行います。医療機関が手術にて医療機器を使用した時点で、医療機関と販売代理店・特約店の売買が成立します。

※2：NTTロジスコの在庫管理ソリューション <https://www.nttlogisco.com/service/inventorycontrol/>

※3：NTTロジスコのコンサルティングサービス <https://www.nttlogisco.com/service/scm/>

※4：NTTロジスコの医療機器物流 <https://www.nttlogisco.com/service/3pl/medical/>

※5：NTTロジスコ2025年1月28日発出ニュースリリース「メディカルディストリビューションセンター大阪Ⅱの開設について～医療機器物流の西日本エリアの流通網を強化～」
<https://www.nttlogisco.com/info/2025/2516/>